

平成 29 年度 杉循環器科内科 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について\(厚生労働省\)](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
3. [初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞の患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
7. [その他\(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率\)](#)

年齢階級別退院患者数[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分 0～ 10～ 20～ 30～ 40～ 50～ 60～ 70～ 80～ 90～

患者数 0 1 5 4 32 51 215 274 405 214

平成 29 年度に当院を退院された患者さん 1,201 人を 10 歳刻みの年齢階級別に集計しております。

全体の 92%が 60 歳以上、74%が 70 歳以上の患者さんとなっております。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)[ファイルをダウンロード](#)

循環器内科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均 在院 日数 (自 院)	平均 在院 日数 (全 国)	転院 率	平均 年齢	患者 用 パス
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 11 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	151	4.52	3.03	2.65	70.78	
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	147	22.99	17.71	19.05	83.62	

狭心症、慢性虚血性心
 疾患 経皮的冠動脈形
 050050xx02000xx02000x 成術等 手術・処置等 1 94 10.49 4.62 2.13 71.91
 なし、1,2 あり 手術・処
 置等 2 なし 副傷病なし

循環器内科の最も多い症例は、狭心症などに対する心臓カテーテル治療のための入院及び治療前後の心臓カテーテル検査のための入院となっており、全体の半数近くを占めております。

次に多いのは、心不全治療の患者さんです。心不全治療の患者さんは、平均年齢 83.62 歳となっており高齢である事が分かります。

また、心不全治療は、平均 23 日と日数が長くなっている事が分かります。

腎臓内科

DPC コード	DPC 名称	患 者 数	平均 在院 日数 (自 院)	平均 在院 日数 (全 国)	転院 率	平均 年齢	患 者 用 パス
110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性 腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処 置等 2 なし 副傷病なし	21	14.86	12.23	47.62	85.14	
180040xx99x0xx	手術・処置等の合併症 手術 なし 手術・処置等 2 なし	6	3.33	9.74	33.33	75.33	

腎臓内科の最も多い症例は、例年慢性腎不全増悪時の精査・加療目的となっております。

平均年齢も引き続き高齢となっている事が分かります。

初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	0	1	0	0	3	0	1	7
大腸癌	0	1	1	0	0	0	1	6.7
乳癌	0	0	0	0	1	0	1	7
肺癌	0	0	0	1	0	0	1	7
肝癌	0	0	0	0	1	0	1	7

※ 1:UICC TNM 分類, 2:癌取扱い規約

当院においては、循環器内科・腎臓内科を中心とした治療を行っており、癌症例は少なくなっている事が分かります。

癌症例に関しては、他院と連携して行っております。

成人市中肺炎の重症度別患者数等[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	5	16.60	59.60
中等症	51	19.86	84.59
重症	1	25.00	88.00
超重症	6	15.50	81.50
不明	0	0.00	0.00

市中肺炎とは、在宅での日常生活を送っている人に起る肺炎です。

平成 28 年度は 48 人、平成 29 年度は 63 人と患者さんの数が多くなっております。

重症度が上がることに、平均年齢が高くなっており、治療日数が長くなる傾向にあります。

脳梗塞の患者数等[ファイルをダウンロード](#)

発症日から 患者数 平均在院日数 平均年齢 転院率

3日以内	4	22.50	74.25	20.00
その他	6	63.67	81.67	30.00

急性脳梗塞の患者さんの平均年齢は、80歳前後と高齢の方が多く、平均して20日程度の入院期間で治療とリハビリを行い、自宅及び施設退院となっております。

診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)[ファイルをダウンロード](#)

循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	92	6.01	7.12	4.35	72.02	
k5491	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞)	34	0.03	23.00	0.00	71.26	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症)	23	0.09	18.83	4.35	70.13	
k5972	ペースメーカー移植術(経静脈電極)	21	9.19	15.38	4.76	78.52	
k597-2	ペースメーカー交換術	11	3.27	15.18	9.09	82.00	

循環器内科では、狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患に対する経皮的冠動脈ステント留置術施行の

心臓カテーテル治療の患者さんが多くなっております。

また、房室ブロックや洞不全症候群など徐脈を来たす患者さんが増えており、ペースメーカー植え込み術の施行数も増加傾向にあります。

腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
k616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	5	2.20	2.60	20.00	78.00	

腎臓内科においては、透析患者さんのシャントに対する経皮的シャント拡張術が多くなっております。

近年は、入院加療にて行う事が少なくなり、日帰りでの施行が多くなっております。

その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180010	敗血症	同一	1	0.08
		異なる	1	0.08
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	1	0.08
180040	手術・処置等の合併症	同一	10	0.83
		異なる	1	0.08

手術・処置等の合併症の症例が、平成 28 年度と比較して半減しております。これは、透析治療入院やシャント拡張術目的入院の減少が影響していると考えられます。

更新履歴